

松永地区まちづくり推進委員会 連絡協議会について



福山市自治会連合会
副会長 横山 典好

福山市松永はきもの資料館

(愛称: あしあとスクエア)

「日本はきもの博物館」「日本郷土玩具博物館」の閉館後、
2015年7月に福山市の施設としてリニューアルオープン

❀ 展示資料 ❀

【はきもの】

松永地区の伝統産業の
下駄を中心とした
国指定重要有形文化財
2,000点以上



【郷土玩具】

家族の幸せを願ったものなど



【伝統産業】

地域の産業で使用されていた
道具が、当時の状態で展示



はきもの資料館 収蔵総数

収蔵総数

はきもの 13, 596点

内 2, 266点は国の重要有形民俗文化財

玩具 18, 109点

展示数

はきもの 706点

玩具 3, 104点

なぜ“協働”で運営することになったのか・・・？

寄附受納後の運営について

あしあとスクエアの協働運営が生まれた理由



【地域住民】

地域の宝を
残したい

歴史文化の
知識と理解を
深める



【福山市行政】

地元への愛着
を育みたい

心の豊かさ
を実感できる
まちづくり

協働で
運営



松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会 設立について

- 2014年9月24日 松永地区まちづくり推進委員会設立
(松永地区8学区1町のまちづくり推進委員会で組織)
- 2015年1月15日 はきもの資料館運営に係る会議
- 2015年5月7日 資料館愛称選考会
(あしあとスクウェアと決定)
- 2015年7月4日 リニューアルオープン記念式典

実際に協働運営とは“何”を行っているの・・・？

協働運営で地域住民が行っていること

◆ 施設の管理・運営 ◆



受付

展示資料の案内



協働運営を通して
どのような“成果”が現れてきたのか・・・？

プロジェクトの成果 ～実績～



● 4,000人を超える地域住民が運営に参加



● ふるさと学習の場として、年間約30校が利用



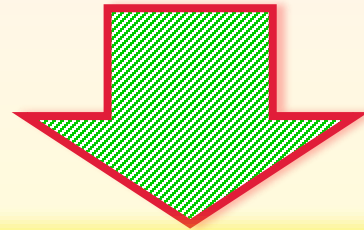
● 開館記念イベントでは来場者数約2,000人

プロジェクトの成果 ～効果～

多くの地域住民が
意欲的に取り組む

幅広い世代に
繋がりが生まれる

住民の間で
歴史文化の継承



誇りと生きがいを感じ、心の豊かさを実感できるまちづくり

松永地区まちづくり推進委員会
連絡協議会



松永地区の大きなイベント

ゲタリンピック

時期 毎年9月中旬
場所 松永駅南口周辺

フレンドリーピック まつなが カープヂェー

時期 毎年2月上旬
場所 西部市民センター、はきもの資料館

協働運営で地域住民が行っていること

◆ イベント等の開催 ◆

いけばな展



国登録有形文化財



フリーマーケット



ふれあいサロン



開館記念イベント

今後の課題・継続の難しさ

- 資料館の運営を地域で行う。
- 地域の歴史・文化を次世代に継承する。
- 住民の郷土愛を育み、住民の自主的なまちづくりに繋がる活動の実践
- 来館者を増やすこと

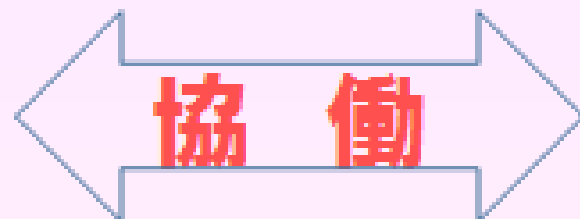
具体的な活動

- 8学区1町のまちづくりの横の繋がりをもつイベントの開催
- 保育所、幼稚園、小学校と連携した行事の計画
- H.P、SNS、Face Book 等を利用し、情報発信する。
- 子どもたちやお年寄り向けのイベントの企画、年間行事の見直し



活動の生きがいを感じ、心の豊かさを実感し、
協働の輪を広げる

福山市

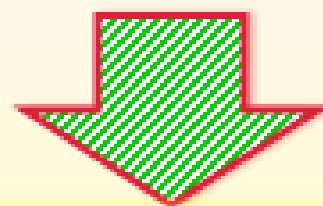


まちづくり推進委員会

多くの地域住民が
意欲的に取り組む

幅広い世代に
繋がりが生まれる

住民の間で
歴史文化の継承



誇りと生きがいを感じ、心の豊かさを実感できるまちづくり

ご清聴ありがとうございました。